

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	堀江 直美
題名	<p style="text-align: center;">移り変わるベトナム系コミュニティ —長崎のカトリック教会に集う若者たちの生活世界の視点から—</p>		
<p>論文内容の要旨</p> <p>本研究は、外国人非集住地域である長崎のカトリック教会内に形成されたベトナム系コミュニティがどのようなものかを明らかにするものである。</p> <p>在留外国人は2019年末時点で290万人を超え、中でもベトナム人の増加が著しい。在留ベトナム人のうち技能実習生や留学生の若い世代のベトナム人が急増している。彼らの中にはカトリック信徒が一定数存在し、カトリック教会で定期的開催されるベトナム語ミサに集い、コミュニティが形成されている。しかし、技能実習生等の若者は、帰国することが前提であり、滞日期間が短いこと、日本語力の不足などから日本人とのコミュニティやネットワーク形成が困難な傾向にあると指摘されていた。本研究の課題は彼らの形成するコミュニティについて着目し、このコミュニティの生成過程やコミュニティの機能を分析し、そしてコミュニティに集うベトナム人の若者たちが紡いでいる生活世界の複層的ネットワークについて考察することである。</p> <p>序章ではベトナム系移民、特に技能実習生や留学生の若者の急増の背景から、移民や移民コミュニティのこれまでの捉え方や、宗教と移民、技能実習生や働く留学生の問題に着目し、課題を設定した。1章では在日ベトナム系移民の背景を捉えるために、ベトナム国の概要と日本におけるベトナム系移民の先駆けであるベトナム難民の定住過程や現在増加しているベトナムの若者達の移住背景、そしてベトナム系移民の宗教的背景を概観した。2章では研究方法、調査対象地である長崎の概要説明、調査対象であるカトリック教会内に形成されたコミュニティの概要と半構造化インタビューによる調査対象者の概要、アンケート調査結果をまとめた。3章では3箇所の教会を移動しながらベトナム系コミュニティを形成するプロセスを考察した。4章ではベトナム系コミュニティの機能を分析し、ベトナム系コミュニティが地域社会のネットワークによって支援機能を得ていくこと、ベトナム語ミサ等がベトナム人の帰属意識と身体感覚を再認識する空間としての機能を持つことを明らかにした。5章ではベトナム系コミュニティのメンバーである移民個人のバックグラウンドを考察し、複層的なネットワークを紡ぎながら生活世界を構成していることを捉えた。以上の検討を踏まえ、終章ではこれまでの議論を整理し、長崎のベトナム系コミュニティとはどのようなものなのか、という結論を述べた。</p>			

氏名	堀江 直美
<p>本研究の対象である長崎のカトリック教会に形成されたベトナム系コミュニティの形成過程は、コミュニティの核となるベトナム語ミサの開催場所の移動と共に内部が変容していく特徴がある。ベトナム語ミサは2012年、一人の留学生のカトリック信仰とベトナムの家族への思いから、長崎市内のA教会で開始された。当時は在留ベトナム人が少なく、ベトナム語ミサの参加人数も少なかった。しかし、2015年ベトナム人神父がB教会に新たに着任し、ベトナム語ミサがここに移動した。その頃から急増した技能実習生や留学生の内のカトリック信徒とその周辺に存在のカトリック信徒以外のベトナム人若者たちが集い、ベトナム・エスニシティが強い結束型ソーシャル・キャピタルとして機能するコミュニティが形成された。しかし、コミュニティのkey person だったベトナム人神父の異動がB教会でのベトナム語ミサの継続を困難とさせた。その結果、ベトナム人神父が頼りだったコミュニティが神父の異動を契機に自立することになった。そしてC教会という新たな教会でベトナム語ミサが開始され、ホスト側であるC教会日本人信徒会メンバーとの関係性を構築しながら、コミュニティを再編させた。</p> <p>このコミュニティはベトナムへの帰属意識とエスニックな身体感覚を再認識する機能を有する排他的なエスニック・コミュニティという側面がある。しかし、C教会日本人信徒会との繋がりや、ネットワークによる支援組織が関わるようになったことで、コミュニティに支援機能が加わり、そこには結束型と橋渡し型の双方の特徴を持つソーシャル・キャピタルが生成され、ベトナム人同士の閉鎖的コミュニティから、日本人の支援者が関わる、開かれたコミュニティへと変容したことを明らかにした。</p> <p>また、ベトナム系コミュニティメンバー個人の背景を考察し、複層的ネットワークを紡ぎながら生活世界を構成していることを捉えた。そこではSNSが重要ツールであることが認識され、ベトナム人若者が構成している生活世界から、単なる「労働力」として捉えられている姿とは違う別様の存在を提示した。</p> <p>今後の課題として、ベトナム人技能実習生女性のリプロダクティブ・ヘルスやジェンダー問題を宗教の視点から捉えていくことが挙げられる。</p>	

論文内容の要旨

専攻名	多文化社会学 専攻	氏名	NAOMI HORIE
題名	Changing Vietnamese community -From the perspective of the lifeworld of youth gathering at the Catholic church in Nagasaki-		
<p>論文内容の要旨</p> <p>This article clarified the characteristics of the Vietnamese community that has formed within the Catholic church in Nagasaki, an area with few immigrants.</p> <p>The number of immigrants in Japan exceeded 2.9 million as of the end of 2019, and among them, Vietnamese youth are remarkably increasing.</p> <p>There is a certain number of Vietnamese gathering at Catholic church for masses in Vietnamese language on a regular basis. As a result, a community has been formed. On the other hand, it has been pointed out that foreign technical interns tend to have difficulties in forming communities and networks with Japanese because they are expected to return to their home countries. Their stay in Japan is short, and they lack Japanese language skills.</p> <p>In the main body of this article, the country of Vietnam was overviewed, following the review of the settlement process of Vietnamese refugees who were the forerunners of immigrants in Japan. Then, topics about the current increase in Vietnamese youth immigrants, the past perceptions of immigrants and their communities and the religious background of Vietnamese immigrants were discussed.</p> <p>This article focused on the community formed by Vietnamese youth. The process of community creations and function were analyzed and their multi-layered network in Nagasaki were discussed. We pointed out that the community creation process among the Catholic church is characterized by the capacity to transform variably as the location of the host church of the</p>			

氏名	NAOMI HORIE
<p>Vietnamese mass, the core of the community change.</p> <p>This community has the aspect of a closed ethnic community that has a function of an attribution to Vietnamese and an ethnic embodiment. However, it was found that the closed community was transformed into an open community by building a relationship with the host society.</p> <p>Furthermore, backgrounds of each Vietnamese community members were examined, and it revealed that they weave a multi-layered network to compose their lifeworld. A social networking service (SNS) is an important tool in this context, and the lifeworld of Vietnamese youth presented a different aspect from the one in which they were regarded as mere 'labor force'.</p>	